

第10款 教 育 費

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
1 教育総務費	円	円		
2 事務局費 (P194)	4,200,000 (2,311,614,000)	2,009,000 (2,267,915,498) 決算額の財源 内訳 府 債 1,000,000 一 般 財 源 1,009,000	府有施設ブロック塀等 緊急安全対策事業 (福利課) (学校教育課) (保健体育課)	1 施策の趣旨等 府有施設に設置されたブロック塀等で、現行の建築基準法に適合していない施設のうち、道路、保育園等に面するなど倒壊した場合に不特定多数への人的被害が生じる恐れが高い施設について、大阪府北部地震の教訓を踏まえ、緊急的な安全対策を図る。 2 施策の実施状況 施設数 4 施設 3 執 行 額 2,009,000円 (うち工事請負費 1,769,000円)
4 教育連絡調整費 (P196)	895,913,000 (1,333,865,000)	873,257,353 (1,304,614,939) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 176,435,817 諸 収 入 300,376 一 般 財 源 696,521,160	豊かな心を育てる教育 推進事業 (学校教育課) (社会教育課)	1 施策の趣旨等 生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、美しいものや自然に感動する心等の豊かな人間性の育成を目指し、心の教育の充実を図るため、家庭・地域社会・学校・関係機関が連携しながら総合的な施策を推進する。 指 標 目 標 実 績 小・中学校における伝統文化や仕事 100% 100% 体験活動の実施率 心の教育学習資料集「京の子ども 全小中学校 全小中学校 明日へのとびら」等を活用した豊か な心を育む取組の実施校数 2 施策の実施状況 (1) KYO発見 仕事・文化体験活動 京都の伝統や文化を大切にする心や、望ましい職業観・勤労観及び様々な知識・技能、社会の一員としての規範意識やコミュニケーション能力などを身につけさせるため、地域における仕事や文化、古典等の体験活動を小・中学校において実施した。 (2) 子どもの読書活動の推進 子どもが積極的に読書活動を行おうとする意欲を高めるため、「子ども読書本のしおりコンテスト」を実施した。 応募者数 9,566人

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	いじめ防止・不登校支 援等総合推進事業 (学校教育課) (高校教育課) (社会教育課)	<p>(3) 「京の子ども 明日へのとびら」作成 心の教育学習資料集「京の子ども 明日へのとびら」を、小・中学校の全児童生徒に配付し、道徳の時間をはじめとするあらゆる教育活動の中で活用することにより、道徳教育の充実を図った。</p> <p>3 執 行 額 23,333,515円 (うち補助金 14,046,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 いじめや不登校が大きな問題となる中で、学校等における児童生徒や保護者の相談に対応する総合的なサポート体制を充実するとともに、いじめ、不登校対策や生徒指導の充実を図る。</p> <p style="text-align: center;">指 標 目 標 実 績</p> <p style="text-align: center;">スクールカウンセラーの配置校数 小27校、中高全校配置 小27校、中高全校配置</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) いじめ未然防止・早期解消支援チーム派遣 学校におけるいじめ事象の未然防止・早期解消に向けて、生徒指導経験のある退職教員などで構成するチームを派遣し、専門的視点から指導助言等を行った。</p> <p>(2) スクールカウンセラー配置 学校における教育相談機能の充実を図るため、専門的な知識を有する臨床心理士をスクールカウンセラーとして小・中・府立高校に配置した。</p> <p style="margin-left: 20px;">配 置 校 (小学校) 向日市立向陽小学校ほか26校 (中学校) 全中学校 (高 校) 全府立高校</p> <p>(3) 心の居場所サポーター配置 学校に登校できるが教室に入りにくい児童生徒に対し、相談室等で相談・学習支援を行うための「心の居場所サポーター」を小・中学校に配置し、不登校の未然防止と早期解決を図った。</p> <p style="margin-left: 20px;">配 置 校 (小学校) 宇治市立榎島小学校ほか15校 (中学校) 向日市立西ノ岡中学校ほか21校</p> <p>(4) いじめ対策24時間電話相談 いじめ問題等に関し、24時間体制での電話相談を実施した。 相談件数 4,252件</p> <p>(5) トータルアドバイスセンター 学校教育及び家庭教育に関する相談体制の充実を図るため、精神科医、臨床心理士等の適応指導相談員や臨床・発達心理学等専門的な知識や技能を有するカウンセラーを配置し、</p>

			<p>効果の上がる学力対策事業 (学校教育課)</p>	<p>来所及び巡回教育相談を実施した。 来所教育相談場所 府総合教育センター及び同北部研修所 巡回教育相談場所 教育局及びアグリセンター大宮</p> <p>(6) ネットいじめ対策 学校非公式サイト等への誹謗中傷の書き込みなどネットをめぐるいじめなどから児童生徒を守るため、民間業者によるネット監視業務を実施するとともに、府民からネットいじめに関する情報を受け付けるための専用通報窓口を設置した。 監視件数 7,135件 通報件数 2</p> <p>(7) いじめ対策・不登校支援等推進事業 適応指導教室の設置・機能拡充や教育委員会と民間団体との連携促進に向けた取組について、市町(組合)に委託した。 実施市町村数 8市町(組合)</p> <p>(8) フリースクール連携推進事業 不登校児童生徒の学校復帰や希望進路の実現に向けて取り組んでいるフリースクールとの連携を推進し、児童生徒の社会的自立を支援した。 連携施設 6施設</p> <p>(9) ふれあい宿泊学習 不登校傾向にある児童生徒がキャンプ等野外活動体験を重ねることにより、自立への力、登校する力をつける宿泊学習を実施した。 実施場所 期間及び開催回数 参加延べ人数 府立るり溪少年自然の家 1泊2日を3回、6泊7日を1回 100人</p> <p>(10) SNSを活用した相談体制構築のための調査研究 通信手段が電話からSNS等に移行していることを踏まえ、多様な相談体制の構築を目的として「LINE」による相談窓口「子どもLINE相談@京都」を試行的に設置した。 設置期間 平成30年10月1日から10月31日まで及び 平成31年1月7日から1月31日まで 受付件数 693件</p> <p>3 執行額 331,262,976円 (うち委託料 52,352,401円)</p> <p>1 施策の趣旨等 基礎基本の徹底や個別課題に対応するための取組を充実し、児童生徒に確かな学力が身につくよう、学力向上に向けた実践的・効果的な支援を実施する。 指 標 目 標 実 績 全国学力・学習状況調査の平均 10% 小6 : 13.2% 正答率が全国平均正答率の1/2 中3 : 10.1 以下の子どもの割合</p>
--	--	--	---------------------------------	---

科 目	予 算 現 額 円	決 算 額 円	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
				<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 学びと育ちを支える保幼小等連携推進事業 保幼小等の円滑な接続を図るため、小学校での体験入学事業を実施するとともに、幼児教育の充実に向けた理論や実践を学ぶ連携推進協議会を開催した。 体験入学事業実施校 98校</p> <p>(2) 京都式「学力向上学習システム」の構築 児童生徒の学力課題を明確にし、効果的な指導につなげられるよう、小学校向けの学力向上学習システムを開発した。</p> <p>(3) 小学校・中学校学力診断テスト 小・中学校児童生徒の学力を客観的にきめ細かく把握し、一人ひとりに対応した指導及び授業改善に役立てるため、学力診断テストを実施した。</p> <p>(4) 小学生個別補充学習～ジュニア・わくわくスタ～ 学習内容が高度化する小学4・5年生段階のつまずきを解消するとともに、主体的に学習に取り組む意欲・態度を身に付けさせるため、基礎基本を徹底する補充学習を実施した。 実 施 校 166校</p> <p>(5) 中1振り返り集中学習～ふりスタ～ 中学1年生の早期に学習のつまずきの解消を図るとともに、主体的に学習に取り組む意欲・態度を身に付けさせるため、基礎的・基本的な内容を振り返る集中学習を実施した。 実 施 校 120校</p> <p>(6) 中2学力アップ集中講座 中学2年生段階における基礎学力の定着を図り、さらに発展した学習ができるよう集中学習を実施した。 実 施 校 89校</p> <p>(7) 中学生読解力向上対策 「読む力」と「書く力」を総合的に高めていき、実生活で活用できる力を身に付けた生徒を育成するため、小論文グランプリ等を実施した。</p> <p>(8) 大学の先生に学ぼう体験事業 京都大学と連携して、研究者が学校へ出向いて授業を行う出前授業や、魅力ある授業づくりのための教員研修を実施した。 出 前 授 業 実施校 97校 教 員 研 修 受研者 16人</p> <p>(9) 理科教育推進事業 理科の観察実験の機会確保と質の向上のため、理科支援員を配置するとともに、大学教授による指導助言を実施した。 配 置 校 長岡京市立長岡第二中学校ほか5校</p> <p>(10) 学力向上システム開発校 小・中学校の中から、自校の学力向上に係る課題に基づく実践上の取組を設定し、課題</p>

			<p>を克服するための新たな方策の開発に主体的に取り組み、教育活動を改革する学校を「学力向上システム開発校」として指定し、支援するとともにその成果の波及を図った。</p> <p>実施校 向日市立第6向陽小学校ほか19校</p>	<p>3 執行額 94,714,158円 (うち委託料 19,938,487円)</p> <p>1 施策の趣旨等 「まなび・生活アドバイザー」を配置・派遣し、児童生徒への支援とネットワークづくりにより、学校をプラットフォームとした福祉関係機関等との連携支援体制を構築する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「まなび・生活アドバイザー」の配置校数</td> <td>小学校28校 中学校40</td> <td>小学校28校 中学校40</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) すべての児童生徒の基礎学力の充実と希望進路の実現を図るため、小中学校に専門家チームを派遣するとともに、学区の地域をつなぐ地域ネットワーク型サポーターを配置し、学力課題の調査・分析や指導・地域ネットワークづくりを実施した。 実施学区数 4 中学校区</p> <p>(2) 地域の状況に詳しい退職教員等を小・中学校に「まなび・生活アドバイザー」として配置し、担任と連携した支援や福祉関係機関等と連携した家庭環境の改善を行い、生活習慣の確立と学習習慣の定着を図った。</p> <p>(3) 学校に社会福祉士、臨床心理士等を派遣し、困難な家庭環境にある子どもの状況を学校で把握し、教育的、福祉的観点から学習・生活支援策を検討・実施できるようケース会議を開催した。</p> <p>3 執行額 142,144,791円</p> <p>1 施策の趣旨等 小・中・高校生の英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、高校生の海外語学研修や留学への支援・英語指導助手の配置などにより、国際感覚を身に付けた国際社会で活躍できるグローバル人材を育成する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校生の海外留学者数</td> <td>130人</td> <td>118人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 外部専門機関と連携し、小学校教員及び中学校、高等学校英語科教員を対象に、英語指導力の向上に効果的な研修を実施した。</p>	指 標	目 標	実 績	「まなび・生活アドバイザー」の配置校数	小学校28校 中学校40	小学校28校 中学校40	指 標	目 標	実 績	高校生の海外留学者数	130人	118人
指 標	目 標	実 績														
「まなび・生活アドバイザー」の配置校数	小学校28校 中学校40	小学校28校 中学校40														
指 標	目 標	実 績														
高校生の海外留学者数	130人	118人														
		<p>京都式「学力向上教育サポーター」事業 (学校教育課)</p>	<p>京都グローバル人づくり事業 (学校教育課) (高校教育課)</p>													

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																					
	円	円		<p>(2) 府内の英語教育強化地域拠点において、公立学校の実態に即したカリキュラムの開発や一貫性のある指導評価についての研究開発を実施した。</p> <p>(3) 英語指導助手の配置 英語による実践的なコミュニケーション能力の充実や国際理解教育の推進を図るため府立高校等にJETプログラムによる英語指導助手を配置した。</p> <p>(4) 府立高校生グローバルチャレンジ事業 英国エディンバラ及びオーストラリアでの語学研修参加者並びに短期留学（1箇月程度）をする者に留学経費を支援した。 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>対象者数</td> <td>エディンバラ語学研修補助事業</td> <td style="text-align: right;">30人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>海外短期留学チャレンジ補助事業</td> <td style="text-align: right;">12</td> </tr> <tr> <td></td> <td>オーストラリア語学研修補助事業</td> <td style="text-align: right;">60</td> </tr> </table> </p> <p>(5) 府立高校「海外サテライト校」事業 オーストラリア等2箇国の高校へ中期留学（2～4箇月）する16人に留学経費を支援した。</p> <p>(6) 府立高校生グローバル文化カフェ事業 教育旅行・観光訪日外国人とのおもてなし交流を実施した。 実施学校数 21校</p> <p>(7) 英語4技能向上事業 中学校2年生を対象に英語4技能テストを実施するとともに、民間の英語4技能テストを受験する府立高等学校1年生に対して受験料の一部を支援した。 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>中学校</td> <td>実施校</td> <td>長岡京市立長岡第四中学校ほか12校</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>対象者数</td> <td>7,683人</td> </tr> </table> </p> <p>(8) 小学校教員及び中学校教員を対象に、新教材を活用した指導方法の研修会を実施するとともに、中学校教員を対象に「聞く・話す」を中心とした集中セミナーを実施した。</p> <p style="text-align: right;">3 執 行 額 273,251,913円</p> <p>1 施策の趣旨等 府立高校における文化系部活動への支援を通じて、京都の伝統文化の次世代への継承を図るとともに、京都ならではの文化を育むことを目指す。 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>指 標</td> <td>目 標</td> <td style="text-align: right;">実 績</td> </tr> <tr> <td>事業指定校数</td> <td>外部指導者の技術指導による文化系部活動の充実</td> <td style="text-align: right;">23校29部</td> </tr> </table> </p> <p>2 施策の実施状況 各種大会等で顕著な活動実績のある部や、特に育成に努めることが必要と認める部を対象として学校を指定し、活動を支援するとともに、その成果の発表に対する経費を助成した。</p>	対象者数	エディンバラ語学研修補助事業	30人		海外短期留学チャレンジ補助事業	12		オーストラリア語学研修補助事業	60	中学校	実施校	長岡京市立長岡第四中学校ほか12校	高等学校	対象者数	7,683人	指 標	目 標	実 績	事業指定校数	外部指導者の技術指導による文化系部活動の充実	23校29部
対象者数	エディンバラ語学研修補助事業	30人																							
	海外短期留学チャレンジ補助事業	12																							
	オーストラリア語学研修補助事業	60																							
中学校	実施校	長岡京市立長岡第四中学校ほか12校																							
高等学校	対象者数	7,683人																							
指 標	目 標	実 績																							
事業指定校数	外部指導者の技術指導による文化系部活動の充実	23校29部																							
			高校生「京の文化力」 推進事業 (高校教育課)																						

				3 執行額 8,550,000円 (うち補助金 4,750,000円)												
2 小学校費																
1 教職員費 (P198)	2,603,481,852 (34,158,325,000)	2,598,454,765 (34,077,384,032) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 465,464,274 一般財源 2,132,990,491	子どものための京都式 少人数教育推進事業 (教職員企画課) (教職員人事課)	<p>1 施策の趣旨等 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人ひとりの児童生徒の確かな学力の定着を図る。</p> <table border="0"> <tr> <td>指 標</td> <td>目 標</td> <td>実 績</td> </tr> <tr> <td>学校の実態等に即した教員配置数</td> <td>全小学校に配置</td> <td>全小学校に配置</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 小学校低学年指導充実事業 児童に学校での基本的な生活習慣及び学習習慣を身に付けさせ、保育園や幼稚園等から小学校への円滑な移行と定着を図るため、小学校第1及び第2学年の児童数30人を超える学級に非常勤講師を配置した。 配置状況 第1学年 109学級 第2学年 121</p> <p>(2) 京の子ども・少人数教育推進事業 小学校第3から第6学年で30人程度の学級編制が可能となるよう教員配置を充実するとともに、児童に応じた指導を行うため、少人数授業・ティームティーチング・少人数学級を市町村教育委員会の選択により実施した。 配置状況 少人数授業・ティームティーチング 84校 108人 少人数学級 77 137</p> <p>3 執行額 2,423,982,957円</p> <p>1 施策の趣旨等 小学校の通常学級に在籍する発達障害等の児童に対して、適切な教育的支援や支援体制の整備等を先導的に行うため、非常勤講師を配置し、小学校における特別支援教育の充実を図る。</p> <table border="0"> <tr> <td>指 標</td> <td>目 標</td> <td>実 績</td> </tr> <tr> <td>支援を要する小学校への非常勤講師配置数</td> <td>54校 54人</td> <td>54校 54人</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 特に支援を必要とする児童が在籍する小学校において、校内委員会での検討等学校全体としての支援体制の充実を図るため、退職教員や特別支援教育専攻の大学院生等を非常勤講師として配置した。</p>	指 標	目 標	実 績	学校の実態等に即した教員配置数	全小学校に配置	全小学校に配置	指 標	目 標	実 績	支援を要する小学校への非常勤講師配置数	54校 54人	54校 54人
指 標	目 標	実 績														
学校の実態等に即した教員配置数	全小学校に配置	全小学校に配置														
指 標	目 標	実 績														
支援を要する小学校への非常勤講師配置数	54校 54人	54校 54人														
			特別支援教育充実事業 (教職員企画課) (教職員人事課)													

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等														
	円	円	教職員の働き方改革推進事業 (教職員企画課) (教職員人事課)	<p>3 執行額 106,990,515円</p> <p>1 施策の趣旨等 教育の質を高めるため、教職員の意識改革を行うとともに、外部人材の活用などにより、教員が授業や準備等に集中できる環境を構築する。</p> <table border="1" data-bbox="1086 391 1937 494"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校英語教育推進教員の配置</td> <td>31人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>スクール・サポート・スタッフの配置</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況 (1) 小学校英語教育推進教員の配置 配置校で英語授業を実施するとともに、公開授業や研修を通じて、小学校英語教育を先導する教員を配置した。 (2) スクール・サポート・スタッフの配置 教員を補助するスタッフを小学校に配置し、英語教育の推進や学級担任の事務作業等をサポートする体制を整備した。</p> <p>3 執行額 67,481,293円</p>	指 標	目 標	実 績	小学校英語教育推進教員の配置	31人	31人	スクール・サポート・スタッフの配置	11	11					
指 標	目 標	実 績																
小学校英語教育推進教員の配置	31人	31人																
スクール・サポート・スタッフの配置	11	11																
3 中学校費 1 教職員費 (P198)	1,514,330,956 (21,282,591,000)	1,512,926,934 (21,216,753,506) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 338,903,176 一般財源 1,174,023,758	子どものための京都式 少人数教育推進事業 (教職員企画課) (教職員人事課)	<p>1 施策の趣旨等 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人ひとりの児童生徒の確かな学力の定着を図る。</p> <table border="1" data-bbox="1086 1021 1971 1093"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校の実態等に即した教員配置数</td> <td>全中学校に配置</td> <td>全中学校に配置</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況 全ての中学校で35人以下の学級編制が可能な教員配置を充実するとともに、生徒に応じた指導を行うため、少人数授業・ティームティーチング・少人数学級の実施に必要な教員を市町村教育委員会の選択により配置した。</p> <table border="1" data-bbox="1086 1236 1803 1308"> <thead> <tr> <th>配置状況</th> <th>少人数授業・ティームティーチング</th> <th>82校</th> <th>147人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>少人数学級</td> <td>31</td> <td>40</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 執行額 1,479,655,826円</p>	指 標	目 標	実 績	学校の実態等に即した教員配置数	全中学校に配置	全中学校に配置	配置状況	少人数授業・ティームティーチング	82校	147人	少人数学級	31	40	
指 標	目 標	実 績																
学校の実態等に即した教員配置数	全中学校に配置	全中学校に配置																
配置状況	少人数授業・ティームティーチング	82校	147人															
少人数学級	31	40																

			特別支援教育充実事業 (教職員企画課) (教職員人事課)	<p>1 施策の趣旨等 中学校の通常学級に在籍する発達障害等の生徒に対して、適切な教育的支援や支援体制の整備等を先導的に行うため、非常勤講師を配置し、中学校における特別支援教育の充実を図る。</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>支援を要する中学校への非常勤講師配置数</td> <td>17校 17人</td> <td>17校 17人</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 特に支援を必要とする生徒が在籍する中学校において、校内委員会での検討等学校全体としての支援体制の充実を図るため、退職教員や特別支援教育専攻の大学院生等を非常勤講師として配置した。</p> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">33,271,108円</p>	指 標	目 標	実 績	支援を要する中学校への非常勤講師配置数	17校 17人	17校 17人
指 標	目 標	実 績								
支援を要する中学校への非常勤講師配置数	17校 17人	17校 17人								
4 高等学校費										
1 高等学校総務費 (P200)	10,464,000 (29,374,368,000)	10,464,000 (29,362,263,188) 決算額の財源 内訳 一般財源 10,464,000	府立高校特別支援教育 支援員配置事業 (教職員企画課) (教職員人事課)	<p>1 施策の趣旨等 府立高校に在籍する発達障害がある生徒への支援体制を整備し、府立高校における特別支援教育の充実を図る。</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>支援を要する高等学校への非常勤講師配置数</td> <td>3校 4人</td> <td>3校 4人</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 発達障害等のある生徒への指導支援体制を整備するため、非常勤講師を配置した。</p> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">10,464,000円</p>	指 標	目 標	実 績	支援を要する高等学校への非常勤講師配置数	3校 4人	3校 4人
指 標	目 標	実 績								
支援を要する高等学校への非常勤講師配置数	3校 4人	3校 4人								
4 教育振興費 (P202)	5,652,220,000 (5,798,921,000)	5,637,175,497 (5,783,025,803) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 3,922,260,709 繰 入 金 4,213,000 諸 収 入 1,265,869,018 一般財源 444,832,770	高校生等修学支援事業 (高校教育課)	<p>1 施策の趣旨等 経済的理由により修学が困難な高校生等に対し、修学資金の貸与や就学支援金の給付等を行うことにより、教育の機会均等を図り、社会の発展に貢献する人材の育成に資する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 修学資金等貸与 経済的理由により修学が困難な高校生等に対し、修学資金等を貸与するとともに、金融機関の特別制度融資を利用した者に対し、利子相当額を補助した。 貸与者数 修学資金 3,736人 支度金 301人 利子補給 786</p> <p>(2) 通学費補助 高額の通学費を負担する家庭に対し、通学費の支援を実施した。</p>						

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>確かな学力を身につけるための支援事業 (高校教育課)</p>	<p>助成者数 66人</p> <p>(3) 定時制・通信制教育振興奨励 定時制・通信制課程に通う生徒の修学を促進するため、修学奨励費の貸与等を実施した。 貸与者数 47人</p> <p>(4) 奨学のための給付金 授業料以外の教育費負担を軽減するため、低所得世帯の高校生等に対し、奨学のための給付金を支給した。 受給者数 5,548人</p> <p>(5) 公立高校就学支援金 一定の収入額未満世帯の生徒に対し、授業料に充てるため公立高校就学支援金を支給した。 対象者数 33,678人</p> <p>3 執 行 額 5,436,387,880円 (うち貸付金 1,103,822,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 生徒一人ひとりの能力・個性を伸ばすため、生徒の学力・学習状況をきめ細かに把握・分析し、状況に応じた取組を推進することで、学力や学校生活の基礎・基本の向上と定着を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 府立高校実力テスト 生徒の学力状況を把握し教科指導の充実に努めるとともに、進路指導をより効果的に進め進路希望の実現を図るため、全ての府立高校で実力テストを実施した。</p> <p>(2) 府立高校「セカンドラーニング教室」設置事業 義務教育段階の学び直しが必要な生徒の学習不安を解消し、学力不足による中退等の防止や学習意欲の向上による希望進路実現を図るため、学習内容の定着が十分でない生徒を対象に個別指導を実施した。</p> <p>(3) 基礎学力補習 学習習慣の確立、基礎基本の徹底により、生徒の基礎学力の充実に努めるため、補習の実施や独自教材の作成を行った。</p> <p>(4) 進路補習 生徒の希望進路を実現するため、進学・就職等希望進路に対応したコース別補習の実施や、資格取得のための就職補習を実施した。</p> <p>(5) 学習合宿 夏季・冬季休業期間中等に学習合宿を実施し、学習習慣の確立や学習意欲の向上を図り、</p>

			<p>夢に応えられる府立高校づくり事業 (高校教育課)</p>	<p>希望進路の実現に必要な学力を育成した。</p> <p>(6) 大学生教育ボランティア活用事業 教職を目指す大学生等をボランティアとして受け入れ、授業補助や個別指導補助に活用し、きめ細かな指導体制の充実を図った。</p> <p>3 執行額 41,532,516円</p> <p>1 施策の趣旨等 「府立高校特色化推進プラン」に基づき、生徒一人ひとりに応じた教育と時代の変化に対応した教育を実践し、各高校の特色化を推進する。</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>京都大学との連携による 数学オリンピック等参加者数</td> <td>延べ1,000人</td> <td>延べ808人</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 数学オリンピック等チャレンジ事業 生徒の数学に対する興味・関心を喚起するとともに、数学的な見方や考え方を養い、数学的資質の向上を図るため、京都数学グランプリを実施した。</p> <p>ア 京都・大阪数学コンテスト 開催日時 平成30年7月15日 会 場 京都大学ほか5会場</p> <p>イ 京都数学オリンピック道場 開催日時 平成30年10月21日、12月9日の2日間 会 場 京都大学理学部</p> <p>(2) グローバルネットワーク京都等 大学教授等による論文作成講座や高校生による論文コンテスト、民間企業と連携した商品開発等の取組を実施した。</p> <p>(3) 京都フロンティア校支援事業 各高校の特色に応じて自ら設定したテーマに基づく先進的な取組を支援した。 実 施 校 清明高等学校ほか23校</p> <p>(4) スーパーグローバルハイスクール設置事業 大学等と連携して、国際的に活躍できる人材の育成や教育課程を開発した。 実 施 校 嵯峨野高等学校、鳥羽高等学校</p> <p>(5) スーパープロフェッショナルハイスクール設置事業 大学等との連携など先進的で卓越した取組を行う専門高校での研究開発を支援した。 実 施 校 京都すばる高等学校</p> <p>(6) 高校生学習チャレンジサポート事業 進学予備校等の動画コンテンツを活用した学習指導を実施した。 実 施 校 綾部高等学校ほか11校</p>	指 標	目 標	実 績	京都大学との連携による 数学オリンピック等参加者数	延べ1,000人	延べ808人
指 標	目 標	実 績								
京都大学との連携による 数学オリンピック等参加者数	延べ1,000人	延べ808人								

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等						
	円	円		<p>(7) 京都フレックス学園構想推進事業 清明高等学校における教育環境の充実に係る取組を支援した。</p> <p>3 執 行 額 90,042,101円</p>						
			高校生伝統文化事業 (高校教育課)	<p>1 施策の趣旨等 日本・郷土の伝統文化を尊重する態度の育成に当たり、京都府にゆかりの深い茶道及び華道を取り上げ、伝統文化への関心を高めるとともに、豊かに生きる力を育む。</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>指 標</td> <td>目 標</td> <td>実 績</td> </tr> <tr> <td>参加生徒数(延べ)</td> <td>7,800人</td> <td>8,020人</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 府立高校において、総合的な学習の時間等を活用し、茶道や華道に関する講義や作法を通して、規範意識や思いやりの心を学ぶ授業を実施した。</p> <p>実 施 校 茶道 全府立高校 華道 清明高等学校ほか24校 和歌などの伝統文化 山城高等学校ほか23校 伝統文化推進校 鴨沂高等学校ほか5校</p> <p>3 執 行 額 23,000,000円</p>	指 標	目 標	実 績	参加生徒数(延べ)	7,800人	8,020人
指 標	目 標	実 績								
参加生徒数(延べ)	7,800人	8,020人								
			特別支援教育総合推進事業 (高校教育課)	<p>1 施策の趣旨等 府立高校における特別支援教育の充実に係る。</p> <p>2 施策の実施状況 府立高校において、聴覚障害生徒に対する学習補助システムによる支援を実施した。</p> <p>実 施 校 2校</p> <p>3 執 行 額 3,000,000円</p>						
			府立高校遠隔教育システム導入事業 (高校教育課)	<p>1 施策の趣旨等 丹後地域において学舎制を導入する府立高校に、学舎間で連携した教育活動を実施するための遠隔教育システムを導入する。</p> <p>2 施策の実施状況 令和2年度から各学舎の生徒同士が交流できる教育を実施するため、遠隔教育システムを</p>						

				<p>整備した。 整備校 官津高等学校ほか3校</p> <p>3 執行額 37,000,000円</p>
			<p>府立高校生夢チャレンジ留学支援事業 (高校教育課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 夢や希望を抱きながらも経済的に困難な状況にある高校生を支援したいという意向で受け入れた寄附金を活用し、経済的に困難な状況にありながらも、将来の夢の実現にチャレンジする府立高校生を支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 低所得世帯の府立高校生を対象とした留学支援を実施した。 対象者数 13人</p> <p>3 執行額 4,213,000円</p>
			<p>新しい学びのスタイル実践研究事業 (高校教育課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 新学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ICTを活用した授業スタイルや効果的な活用方法について実践研究を行う。</p> <p>2 施策の実施状況 普通教室に大型提示装置、指導者用タブレット端末、無線LAN環境を整備して実践研究を実施した。 実施校 山城高等学校</p> <p>3 執行額 2,000,000円</p>
5 学校建設費 (P202)	<p>3,068,360,000 (3,068,360,000)</p> <p>翌年度への繰越 事業費繰越額 753,212,000</p> <p>(老朽校舎等改修 費 140,000,000)</p> <p>府立高校トイレ 洋式化推進事業 費 445,786,300</p>	<p>2,307,710,754 (2,307,710,754)</p> <p>決算額の財源 内訳 繰越金 930,000</p> <p>府債 2,262,000,000</p> <p>一般財源 44,780,754</p>	<p>新設高等学校整備事業 (管理課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 自分のペースで「自立心・主体性」を身につけることができる、生徒一人ひとりのチャレンジをサポートする新しい高校を峰山高校弥栄分校校地に新設する。</p> <p>2 施策の実施状況 校舎を新設し、既存棟を改修する工事の基本・実施設計を実施した。</p> <p>3 執行額 42,434,379円</p>
			<p>学校施設長寿命化推進 事業 (管理課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 学校施設の計画的な改修により長寿命化を推進する。</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円 府有施設ブロック塀等緊急安全対策事業費 (167,425,700)	円	鴨沂高校校舎等整備事業 (管 理 課) 老朽校舎等改修事業 (管 理 課) 府立高校トイレ洋式化推進事業 (管 理 課)	2 施策の実施状況 体育館屋根防水改修、体育館床改修及び改修設計等を実施した。 実 施 校 体育館屋根防水改修 向陽高等学校 体育館床改修 西城陽高等学校 大規模改修設計 桂高等学校ほか2校 空調改修設計 洛西高等学校ほか1校 グラウンド改修設計 朱雀高等学校 3 執 行 額 122,223,933円 1 施策の趣旨等 鴨沂高等学校校舎について改築等による耐震化を図り、安心・安全な教育環境を整備する。 2 施策の実施状況 鴨沂高等学校校舎整備のため、改築工事を実施し、整備が完了した。 3 執 行 額 1,625,031,000円 1 施策の趣旨等 老朽化した校舎等の維持補修を計画的に実施する。 2 施策の実施状況 老朽校舎改修及び設備改修等を実施した。 老朽校舎・設備改修等 259,672,769円 建 築 物 定 期 点 検 93,911,673 3 執 行 額 353,584,442円 1 施策の趣旨等 府立高校のトイレ洋式化を推進し、学習環境及び衛生環境の向上を図る。 2 施策の実施状況 トイレ洋式化のため改修工事及び改修設計を実施した。 実 施 校 トイレ改修 東舞鶴高等学校浮島分校ほか8校 改修設計 山城高等学校ほか14校 3 執 行 額 138,213,700円

			府有施設ブロック塀等 緊急安全対策事業 (管 理 課)	<p>1 施策の趣旨等 府有施設に設置されたブロック塀等で、現行の建築基準法に適合していない施設のうち、道路、保育園等に面するなど倒壊した場合に不特定多数への人的被害が生じる恐れが高い施設について、大阪府北部地震の教訓を踏まえ、緊急的な安全対策を図る。</p> <p>2 施策の実施状況及び執行額 施設数 7 施設</p> <p>3 執 行 額 26,223,300円 (うち工事請負費 19,538,160円)</p>
5 特別支援学校 費				
1 特別支援学 校費 (P204)	<p>1,323,603,000 (13,808,775,401)</p> <p>翌年度への繰越 事業費繰越額 354,224,000</p> <p>(新設特別支援学 校整備推進費 169,256,000</p> <p>府有施設ブロッ ク塀等緊急安全 対策事業費 46,937,408</p> <p>府立特別支援学 校緊急猛暑対策 事業費 106,030,592</p> <p>府立学校ブロッ ク塀緊急安全対 策事業費 32,000,000)</p>	<p>894,601,835 (13,352,447,708)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 47,838,895</p> <p>繰 越 金 3,965,000</p> <p>諸 収 入 3,360,852</p> <p>府 債 794,000,000</p> <p>一 般 財 源 45,437,088</p>	<p>新設特別支援学校整備 推進事業 (管 理 課)</p> <p>学校施設長寿命化推進 事業 (管 理 課)</p> <p>老朽校舎等改修事業 (管 理 課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 山城地域の特別支援学校における児童生徒の急増に対応するため、井手町との連携協力のもと、新設特別支援学校の整備を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 建設予定地の造成工事及び校舎実施設計を実施した。</p> <p>3 執 行 額 586,158,664円</p> <p>1 施策の趣旨等 学校施設の計画的な改修により長寿命化を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 盲学校において空調改修工事を実施した。</p> <p>3 執 行 額 83,899,800円</p> <p>1 施策の趣旨等 老朽化した校舎等の維持補修を計画的に実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 老朽校舎改修及び設備改修等を実施した。 老朽校舎・設備改修 175,463,491円</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p style="text-align: right;">建築物定期点検 11,904,192</p> <p>3 執行額 187,367,683円</p>
			向日が丘支援学校基本構想策定調査事業 (管理課) (特別支援教育課)	<p>1 施策の趣旨等 向日が丘支援学校における新たな教育活動や支援の在り方、学校の将来像を検討するとともに、校舎の改築等に向けた基本構想を策定する。</p> <p>2 施策の実施状況 府、乙訓地域の教育・福祉関係者等による基本構想検討会議を実施した。</p> <p>3 執行額 609,036円</p>
			府有施設ブロック塀等緊急安全対策事業 (管理課)	<p>1 施策の趣旨等 府有施設に設置されたブロック塀等で、現行の建築基準法に適合していない施設のうち、道路、保育園等に面するなど倒壊した場合に不特定多数への人的被害が生じる恐れが高い施設について、大阪府北部地震の教訓を踏まえ、緊急的な安全対策を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 施設数 3施設</p> <p>3 執行額 3,790,592円 (うち工事請負費 2,317,680円)</p>
			府立特別支援学校緊急猛暑対策事業 (管理課)	<p>1 施策の趣旨等 平成30年における記録的猛暑を踏まえ特別支援学校の空調設備を整備する。</p> <p>2 施策の実施状況 盲学校、聾学校舞鶴分校及び向日が丘支援学校の特別教室で空調設備を整備した。</p> <p>3 執行額 969,408円</p>
			特別支援教育総合推進事業 (特別支援教育課)	<p>1 施策の趣旨等 発達障害を含む障害のある幼児児童生徒一人ひとりの教育ニーズに応じて、一貫した支援を総合的に行う。</p>

				<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>京都府スーパーサポートセンターにおける 教員への体験型専門研修受講者数</td> <td style="text-align: center;">1,000人</td> <td style="text-align: center;">752人</td> </tr> <tr> <td>京都府スーパーサポートセンター及び各地 域支援センターにおける小中学校等に対す る相談支援件数</td> <td style="text-align: center;">6,800件</td> <td style="text-align: center;">5,290件</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 特別支援教育サポート拠点事業 特別支援教育の拠点校である宇治支援学校内に「京都府スーパーサポートセンター」を設置し、総合教育センター、各地域支援センター、盲学校及び聾学校と連携、子ども・保護者・教員・地域を支援した。</p> <p>ア 宇治支援学校の授業等を活用した教員への体験型専門研修 9講座開催 受講者 752人</p> <p>イ 医師や作業療法士等からなる専門家チーム等を活用した相談支援 相談件数 117件</p> <p>ウ 府南部地域における就学前からの視覚・聴覚障害のある子どもへの相談支援 相談件数 851件</p> <p>(2) 地域等連携推進事業</p> <p>ア 各地域支援センターにおける教育相談、医師、臨床心理士、福祉関係者及び教員等による教育相談 相談件数 4,439件</p> <p>イ 小中学校等での研修会への講師派遣 支援件数 226件</p> <p>3 執 行 額 19,566,652円</p>	指 標	目 標	実 績	京都府スーパーサポートセンターにおける 教員への体験型専門研修受講者数	1,000人	752人	京都府スーパーサポートセンター及び各地 域支援センターにおける小中学校等に対す る相談支援件数	6,800件	5,290件
指 標	目 標	実 績											
京都府スーパーサポートセンターにおける 教員への体験型専門研修受講者数	1,000人	752人											
京都府スーパーサポートセンター及び各地 域支援センターにおける小中学校等に対す る相談支援件数	6,800件	5,290件											
		特別支援学校職業教育等充実事業 (特別支援教育課)	<p>1 施策の趣旨等 特別支援学校高等部生徒の職業的自立を促進するため、就労支援及び職業教育内容の充実を行う。</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>一般企業への就職率</td> <td style="text-align: center;">30% (平成30年度)</td> <td style="text-align: center;">平成30年度末卒業生 27.3%</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) ふれあい・心のステーション 府立特別支援学校全11校が参加し、生徒が自ら製作品の販売実習・実演を行い、府民との交流や企業の理解啓発を図った。</p> <p>日 程 平成30年9月5日～6日 会 場 大丸京都店 入場者数 約4,000人</p>	指 標	目 標	実 績	一般企業への就職率	30% (平成30年度)	平成30年度末卒業生 27.3%				
指 標	目 標	実 績											
一般企業への就職率	30% (平成30年度)	平成30年度末卒業生 27.3%											

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																												
	円	円	羽ばたけ就労支援事業 (特別支援教育課)	<p>(2) 生徒の進路支援 進路指導担当教員がハローワーク等と連携し、新しい職場の開拓や現場実習の受入先の確保に一層取り組めるよう非常勤講師を10校に配置した。</p> <p>3 執 行 額 9,799,000円</p> <p>1 施策の趣旨等 外部機関等と連携し、生徒の清掃や接客などの職種別専門的技能を客観的に評価するシステム（京しごと技能検定）を構築する。</p> <p>2 施策の実施状況 教職員向け指導者講習会の実施や介護分野の指導マニュアル及び評価基準を策定するとともに、各種目で京しごと技能検定を実施した。 実施種目 清掃、接客、パソコン実務</p> <p>3 執 行 額 2,441,000円</p>																												
<p>6 大 学 費</p> <p>1 大 学 費 (P204)</p>	<p>12,592,171,000 (12,748,433,000)</p> <p>翌年度への繰越 事業費繰越額 453,000,000</p> <p>(医科大学附属病 院手術室機能強 化費 357,000,000</p> <p>北部医療センタ ーがん診療棟整 備費76,000,000</p> <p>周産期等子育て 医療体制強化費 20,000,000)</p>	<p>12,138,979,510 (12,294,411,195)</p> <p>決算額の財源 内訳</p> <p>国庫支出金 37,500,000</p> <p>繰 入 金 189,000,000</p> <p>繰 越 金 1,000,000</p> <p>府 債 2,929,000,000</p> <p>一 般 財 源 8,982,479,510</p>	<p>京都府公立大学法人運 営費交付金 (大学政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府立医科大学及び府立大学が法人化により、質の高い教育研究等を実施することを通じて、府民の健康増進及び福祉の向上等に貢献するとともに、中期計画期間に合わせた収支見通しを立て、弾力的・効率的で透明性の高い運営の実現が行えるよう支援を行う。</p> <p>2 施策の実施状況 京都府公立大学法人によって行われた、幅広い教養、高度の専門的知識及び高い倫理観を備えるための人材育成、他大学や地域の多様な主体と協力・連携した研究成果等の活用、附属病院における医療の提供等を通じた社会への貢献等の事業を支援した。</p> <table border="0" data-bbox="1120 1133 2016 1356"> <tr> <td>府立医科大学</td> <td>{</td> <td>学 部</td> <td>医学科660人、看護学科337人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>{</td> <td>大 学 院</td> <td>医学研究科340人、保健看護学研究科21人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>年間延べ人数</td> <td>1日平均</td> </tr> <tr> <td>府立医科大学附属 病院</td> <td>{</td> <td>入院患者数</td> <td>222,041人 608人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>{</td> <td>外来患者数</td> <td>504,420 2,067</td> </tr> <tr> <td>府立医科大学附属 北部医療センター</td> <td>{</td> <td>入院患者数</td> <td>76,720 210</td> </tr> <tr> <td></td> <td>{</td> <td>外来患者数</td> <td>144,494 592</td> </tr> </table>	府立医科大学	{	学 部	医学科660人、看護学科337人		{	大 学 院	医学研究科340人、保健看護学研究科21人			年間延べ人数	1日平均	府立医科大学附属 病院	{	入院患者数	222,041人 608人		{	外来患者数	504,420 2,067	府立医科大学附属 北部医療センター	{	入院患者数	76,720 210		{	外来患者数	144,494 592
府立医科大学	{	学 部	医学科660人、看護学科337人																													
	{	大 学 院	医学研究科340人、保健看護学研究科21人																													
		年間延べ人数	1日平均																													
府立医科大学附属 病院	{	入院患者数	222,041人 608人																													
	{	外来患者数	504,420 2,067																													
府立医科大学附属 北部医療センター	{	入院患者数	76,720 210																													
	{	外来患者数	144,494 592																													

			<p>府立大学</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> 学 部 文学部472人、公共政策学部444人 生命環境学部899人 大 学 院 文学研究科58人、公共政策学研究科30人 生命環境科学研究科183人 </p>
		京都府公立大学法人施設設備整備資金貸付金 (大学政策課)	<p>3 執行額 8,881,953,000円 (交付金)</p> <p>1 施策の趣旨等 京都府公立大学法人が行う施設設備整備事業に対して貸付を行い、法人の施設設備整備事業の円滑な実施を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 医療機器整備事業 電子カルテシステム、診療用X線撮影装置等を整備した。 1,570,000,000円</p> <p>(2) 施設整備事業 病棟空調用冷温水発生機更新等を行った。 412,000,000円</p> <p>3 執行額 1,982,000,000円 (貸付金)</p>
		医科大学附属病院精神科病棟整備事業 (大学政策課)	<p>1 施策の趣旨等 府立医科大学附属病院精神科病棟の療養環境向上を図るための病棟改修・移転の実施に向け、京都府公立大学法人に対して貸付等を行う。</p> <p>2 施策の実施状況 精神科病棟をD病棟へ移転するための病棟改修工事（個室増7室→19室）及び精神科病棟の解体工事を実施した。</p> <p>3 執行額 421,252,580円 (うち委託料 107,252,580円 貸付金 314,000,000円)</p>
		医科大学附属病院手術室機能強化事業 (大学政策課)	<p>1 施策の趣旨等 府立医科大学附属病院の手術室を増室し、手術待ち状態の改善を図り、府民に高度医療を提供するため、京都府公立大学法人に対して貸付を行う。</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																								
	円	円		<p>2 施策の実施状況 中央診療棟5階に手術室を増室（12室→14室）するための改修工事を実施した。</p> <p>3 執 行 額 121,000,000円 (貸付金)</p>																								
			和食文化高等教育機関 設置推進事業 (大学政策課)	<p>1 施策の趣旨等 和食文化の保護・継承を図るため、府立大学における和食文化学科開設に向けた学問体系の構築に係る調査・研究等に対する支援及び旧図書館棟を学舎として改修するため、京都府公立大学法人に対して貸付を行う。</p> <p>2 施策の実施状況 和食文化学科の開設に向けて、学部横断プログラム「和食の文化と科学」におけるカリキュラムの一部先行実施や旧図書館棟の改修を行った。</p> <p>3 執 行 額 211,309,660円 (うち 交付金 45,000,000円 貸付金 166,000,000円)</p>																								
			府立大学地域貢献活動 強化事業 (大学政策課)	<p>1 施策の趣旨等 府政の推進及び府域の発展に寄与し社会的貢献を果たすため、府立大学が市町村、NPO等と共同して地域の課題解決に向けた調査・研究を行う「地域貢献型特別研究 (ACTR)」の取組及び研究成果の発信に対して支援を行う。</p> <p>指標：調査研究活動件数 目標：20件 実績：21件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">(1) 調査研究活動</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">研究分野</td> <td style="text-align: center;">件数</td> <td style="text-align: center;">内 容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>文学・歴史</td> <td style="text-align: center;">2件</td> <td>舞鶴・丹後地域の高大連携、世代間交流と文化遺産活用他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公共政策</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td>宇治市・西小倉地域における市民との協働型まちづくりのあり方検討他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生命環境</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td>京都府産木材の流通強化に向けた原木段階での強度等級予測手法の展開と原料調達・製品製造シミュレーション他</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(1) 調査研究活動				研究分野	件数	内 容		文学・歴史	2件	舞鶴・丹後地域の高大連携、世代間交流と文化遺産活用他		公共政策	3	宇治市・西小倉地域における市民との協働型まちづくりのあり方検討他		生命環境	16	京都府産木材の流通強化に向けた原木段階での強度等級予測手法の展開と原料調達・製品製造シミュレーション他		計	21		
(1) 調査研究活動																												
研究分野	件数	内 容																										
文学・歴史	2件	舞鶴・丹後地域の高大連携、世代間交流と文化遺産活用他																										
公共政策	3	宇治市・西小倉地域における市民との協働型まちづくりのあり方検討他																										
生命環境	16	京都府産木材の流通強化に向けた原木段階での強度等級予測手法の展開と原料調達・製品製造シミュレーション他																										
計	21																											

			<p>(2) 研究成果報告会の開催</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年10月11日</td> <td>京都府立京都学・歴彩館</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>平成31年3月2日</td> <td>舞鶴市政記念館</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 執行額 30,000,000円 (交付金)</p>	開催日	会場	来場者数	平成30年10月11日	京都府立京都学・歴彩館	75人	平成31年3月2日	舞鶴市政記念館	68
開催日	会場	来場者数										
平成30年10月11日	京都府立京都学・歴彩館	75人										
平成31年3月2日	舞鶴市政記念館	68										
		<p>北部医療センターがん診療棟整備事業 (大学政策課)</p> <p>1 施策の趣旨等 府立医科大学附属北部医療センターにがん診断から治療までを一体的に実施するがん診療棟を整備する。</p> <p>2 施策の実施状況 がん診療棟の新築工事に着手した。 構造・規模 鉄筋コンクリート造 1階建 延べ床面積 982㎡ 施設の内容 放射線治療室、PET-CT室、化学療法室等</p> <p>3 執行額 394,000,000円 (委託料)</p>										
		<p>周産期等子育て医療体制強化事業 (大学政策課)</p> <p>1 施策の趣旨等 府内の周産期医療体制を強化するため、府立医科大学附属病院のNICU（新生児集中治療室）増床に対する支援を行う。</p> <p>2 施策の実施状況 NICUの増床（6床→9床）に向けた基本設計を実施した。</p> <p>3 執行額 3,000,000円 (交付金)</p>										
		<p>京都府公立大学法人施設災害復旧事業 (大学政策課)</p> <p>1 施策の趣旨等 平成30年7月豪雨及び台風21号に係る災害からの早期復旧に対する支援を行う。</p> <p>2 施策の実施状況 府立医科大学及び府立大学の災害復旧事業を行った。 府立医科大学（倒木処理、外灯・フェンス修繕等） 14,342,000円 府立大学（倒木処理、クラブボックス修繕等） 35,000,000円</p> <p>3 執行額 49,342,000円 (交付金)</p>										

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等															
	円	円	<p>府有施設ブロック塀等 緊急安全対策事業 (大学政策課)</p> <p>北部医療センター防水 対策事業 (大学政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府有施設に設置されたブロック塀等で、現行の建築基準法に適合していない施設のうち、道路、保育園等に面するなど倒壊した場合に不特定多数への人的被害が生じる恐れが高い施設について、大阪府北部地震の教訓を踏まえ、緊急的な安全対策を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 施設数 4 施設</p> <p>3 執 行 額 15,122,270円 (うち委託料 8,122,270円 交付金 7,000,000)</p> <p>1 施策の趣旨等 平成30年7月豪雨により雨水漏水が生じた府立医科大学附属北部医療センターの防水対策の実施に向け、京都府公立大学法人に対して貸付を行う。</p> <p>2 施策の実施状況 北棟やサービス棟の屋上防水工事、南棟玄関や渡り廊下の屋根防水塗装工事等を実施した。</p> <p>3 執 行 額 30,000,000円 (貸付金)</p>															
<p>7 社会教育費</p> <p>1 社会教育総務費 (P206)</p>	<p>64,297,000 (222,329,000)</p>	<p>60,423,669 (216,449,001)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 31,081,663 一般財源 29,342,006</p>	<p>子どものための地域連携事業 (社会教育課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 「学校・家庭・地域」が連携・協働し、地域社会全体で教育に取り組む体制づくりや子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境づくりを推進し、社会全体の教育力の向上や地域の活性化を図る。</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「京のまなび教室」の開設数</td> <td>89教室</td> <td>86教室</td> </tr> <tr> <td>「地域学校協働本部」の本部数</td> <td>46本部</td> <td>59本部</td> </tr> <tr> <td>「地域未来塾」の開設数</td> <td>48箇所</td> <td>49箇所</td> </tr> <tr> <td>土曜日の教育支援体制等構築事業 実施箇所数</td> <td>40校</td> <td>39校</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	目 標	実 績	「京のまなび教室」の開設数	89教室	86教室	「地域学校協働本部」の本部数	46本部	59本部	「地域未来塾」の開設数	48箇所	49箇所	土曜日の教育支援体制等構築事業 実施箇所数	40校	39校
指 標	目 標	実 績																	
「京のまなび教室」の開設数	89教室	86教室																	
「地域学校協働本部」の本部数	46本部	59本部																	
「地域未来塾」の開設数	48箇所	49箇所																	
土曜日の教育支援体制等構築事業 実施箇所数	40校	39校																	

			<p>家庭教育支援事業 (社会教育課)</p>	<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 「京のまなび教室」の開設等 放課後の体験活動・学習活動等の充実を図るため、「京のまなび教室」を開設する市町(組合)に対し、助成を行った。 開設数 17市町(組合) 86教室</p> <p>(2) 地域学校協働活動の推進 地域の住民・団体等の協力を得て、子どもたちの学びや成長を支えるとともに、郷土学習や登下校安全指導などの地域と学校が連携・協働して行う活動を推進し、新たな取組校が増えるよう市町(組合)に助成を行った。 実施本部数 14市町(組合) 59本部 138校</p> <p>(3) 「地域未来塾」の開設 学習が遅れがちな中学生等を対象とした地域住民の協力による学習支援を行う「地域未来塾」の開設を行う市町(組合)に助成を行った。 実施箇所数 11市町(組合) 49箇所 52校</p> <p>(4) 土曜日の教育支援体制等構築 地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の協力による体系的・継続的な土曜日の教育活動を支援する体制の構築に取り組む市町(組合)に助成を行った。 実施箇所数 5市町(組合) 8箇所 39校</p> <p>3 執行額 53,728,203円 (うち補助金 51,945,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 家庭での学習や生活習慣がしっかり身に付くよう、就学前の子どもを持つ保護者を対象に学習機会や情報の提供を行うとともに、相談体制の充実を図ることにより、家庭の教育力の一層の向上を目指す。</p> <table border="1" data-bbox="1104 1029 2094 1125"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育に関する学習機会提供数</td> <td>70回</td> <td>61回</td> </tr> <tr> <td>家庭教育支援活動チーム数</td> <td>7チーム</td> <td>7チーム</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 家庭の教育力の向上のため、保護者への学習機会の提供や家庭教育支援チーム活動を行う市町(組合)に対し、助成を行った。 実施箇所数 5市町(組合)</p> <p>(2) ネットトラブルから子どもを守るため、PTAと連携して保護者を対象とした研修会を実施した。</p> <p>3 執行額 3,055,803円 (うち補助金 1,480,000円)</p>	指 標	目 標	実 績	家庭教育に関する学習機会提供数	70回	61回	家庭教育支援活動チーム数	7チーム	7チーム
指 標	目 標	実 績											
家庭教育に関する学習機会提供数	70回	61回											
家庭教育支援活動チーム数	7チーム	7チーム											

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																														
	円	円	訪問型家庭教育支援事業 (社会教育課)	<p>1 施策の趣旨等 様々な課題を抱える家庭に対する訪問型の家庭教育支援体制を構築し、家庭や子どもを地域で支える取組を推進する。</p> <table border="0" data-bbox="1099 304 2085 368"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">訪問型家庭教育支援の実施数</td> <td style="text-align: center;">2 市町</td> <td style="text-align: center;">2 市町</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 家庭教育支援員が困難を抱える家庭を対象に訪問して相談や助言を行った。また、家庭教育支援員を中心に地域人材や関係機関により構成するネットワーク会議を実施した。</p> <p>3 執 行 額 3,639,663円 (うち委託料 3,459,483円)</p>	指 標	目 標	実 績	訪問型家庭教育支援の実施数	2 市町	2 市町																								
指 標	目 標	実 績																																
訪問型家庭教育支援の実施数	2 市町	2 市町																																
<p>8 文化財保護費</p> <p>1 文化財保護費 (P208)</p>	<p>2,966,649,000 (3,337,698,000)</p> <p>翌年度への繰越 事業費繰越額 477,911,000</p> <p>(歴史的建造物保 存伝承事業費 411,914,000 文化財災害復旧 事業費 65,997,000)</p>	<p>2,488,497,737 (2,858,000,623)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 29,500,000 諸 収 入 2,171,315,000 府 債 141,000,000 一 般 財 源 146,682,737</p>	<p>歴史的建造物等保存伝 承事業 (文化財保護課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府内の貴重な文化財を適切に保存・活用することにより、文化財の後世への継承を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 建造物保存修理受託 国宝・重要文化財建造物のうち、破損の甚だしいものについて、それぞれの所有者から委託を受けて、保存修理を実施した。</p> <table border="0" data-bbox="1099 922 2085 1406"> <tr> <td>知恩院本堂・集會堂ほか</td> <td style="text-align: right;">399,538,000円</td> </tr> <tr> <td>清水寺本堂ほか</td> <td style="text-align: right;">460,032,000</td> </tr> <tr> <td>仁和寺観音堂ほか</td> <td style="text-align: right;">85,810,000</td> </tr> <tr> <td>裏千家住宅</td> <td style="text-align: right;">97,671,000</td> </tr> <tr> <td>本隆寺本堂ほか</td> <td style="text-align: right;">97,446,000</td> </tr> <tr> <td>萬福寺法堂ほか</td> <td style="text-align: right;">155,288,000</td> </tr> <tr> <td>東福寺常楽庵客殿(普門院)ほか</td> <td style="text-align: right;">5,397,000</td> </tr> <tr> <td>教王護国寺大師堂(西院御影堂)</td> <td style="text-align: right;">124,248,000</td> </tr> <tr> <td>平等院鳳凰堂中堂ほか</td> <td style="text-align: right;">17,055,000</td> </tr> <tr> <td>光明寺二王門</td> <td style="text-align: right;">47,440,000</td> </tr> <tr> <td>本願寺阿弥陀堂ほか</td> <td style="text-align: right;">210,607,000</td> </tr> <tr> <td>賀茂別雷神社楼門ほか</td> <td style="text-align: right;">123,485,000</td> </tr> <tr> <td>北野天満宮廻廊ほか</td> <td style="text-align: right;">112,780,000</td> </tr> <tr> <td>知恩寺御影堂及び総門</td> <td style="text-align: right;">21,565,000</td> </tr> <tr> <td>聴竹居本屋及び閑室</td> <td style="text-align: right;">22,300,000</td> </tr> </table>	知恩院本堂・集會堂ほか	399,538,000円	清水寺本堂ほか	460,032,000	仁和寺観音堂ほか	85,810,000	裏千家住宅	97,671,000	本隆寺本堂ほか	97,446,000	萬福寺法堂ほか	155,288,000	東福寺常楽庵客殿(普門院)ほか	5,397,000	教王護国寺大師堂(西院御影堂)	124,248,000	平等院鳳凰堂中堂ほか	17,055,000	光明寺二王門	47,440,000	本願寺阿弥陀堂ほか	210,607,000	賀茂別雷神社楼門ほか	123,485,000	北野天満宮廻廊ほか	112,780,000	知恩寺御影堂及び総門	21,565,000	聴竹居本屋及び閑室	22,300,000
知恩院本堂・集會堂ほか	399,538,000円																																	
清水寺本堂ほか	460,032,000																																	
仁和寺観音堂ほか	85,810,000																																	
裏千家住宅	97,671,000																																	
本隆寺本堂ほか	97,446,000																																	
萬福寺法堂ほか	155,288,000																																	
東福寺常楽庵客殿(普門院)ほか	5,397,000																																	
教王護国寺大師堂(西院御影堂)	124,248,000																																	
平等院鳳凰堂中堂ほか	17,055,000																																	
光明寺二王門	47,440,000																																	
本願寺阿弥陀堂ほか	210,607,000																																	
賀茂別雷神社楼門ほか	123,485,000																																	
北野天満宮廻廊ほか	112,780,000																																	
知恩寺御影堂及び総門	21,565,000																																	
聴竹居本屋及び閑室	22,300,000																																	

				<p>水度神社本殿 7,449,000 酬恩庵鐘楼 10,860,000 養源院中門ほか 23,800,000 教王護国寺五重塔 9,750,000 妙喜庵書院及び待庵 34,410,000 報土寺本堂 4,182,000 知恩寺御影堂ほか 28,064,000 金戒光明寺三重塔 4,500,000 知恩院三門ほか 8,019,000 東福寺常楽庵開山堂・昭堂 6,100,000 教王護国寺蓮華門ほか 5,090,000 妙心寺小方丈及び附廊下 5,748,000 仁和寺二王門 7,800,000 醍醐寺五重塔 4,242,000 萬福寺大雄宝殿ほか 3,160,000 石清水八幡宮摂社若宮社本殿及び摂社若宮殿社本殿 22,086,000 杉本家住宅 5,393,000 計 32件 2,171,315,000</p> <p>(2) 建造物保存修理現場公開 建造物の歴史・修理の仕方等について学ぶ機会を提供し、文化財保護の普及啓発に役立 てるため、本願寺唐門ほか5箇所を公開した。</p> <p>(3) 国指定文化財等補助 国指定文化財の保存修理等に対して補助した。 大徳寺ほか 273件</p> <p>(4) 文化財巡視 文化財保護指導委員を委嘱し、文化財の巡視や文化財保護に関する指導・助言を行うと ともに、地域住民の文化財保護意識の高揚を図るための普及活動を行った。 委嘱人数 69人 巡視状況 延べ1,122日 2,943箇所</p> <p>(5) 重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助 重要伝統的建造物群保存地区の保存事業に対して補助した。 南丹市美山町北重要伝統的建造物群保存地区ほか2保存地区</p> <p>(6) 祇園祭山鉾保存費補助 重要有形民俗文化財である祇園祭山鉾のうち、緊急に修理を要するものに対して、補助 した。 山伏山ほか 3件</p> <p>(7) 京都の史跡・埋蔵文化財活用事業 府内の史跡・埋蔵文化財に対する理解や関心を深めるため、出土品の展示や現地見学 会等を実施した。 参加者数 3,266人</p>
--	--	--	--	--

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>3 執 行 額 2,252,146,737円 (うち補助金 71,420,000円)</p>
			暫定登録文化財等緊急 修理保護事業 (文化財保護課)	<p>1 施策の趣旨等 府内の貴重な文化財を適切に保存・活用することにより、文化財の後世への継承を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 暫定登録文化財の緊急修理等に対して助成を行った。 賀茂別雷神社ほか 53件</p> <p>3 執 行 額 53,000,000円 (補助金)</p>
			府指定・登録文化財保 存修理事業 (文化財保護課)	<p>1 施策の趣旨等 府内の貴重な文化財を適切に保存・活用することにより、文化財の後世への継承を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 府指定・登録文化財の保存修理等に対して助成を行った。 等持院ほか 119件</p> <p>3 執 行 額 90,848,000円 (補助金)</p>
			文化財災害復旧事業 (文化財保護課)	<p>1 施策の趣旨等 平成30年7月豪雨、台風20号及び21号等により被害を受けた文化財の災害復旧を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 平成30年7月豪雨、台風20号及び21号等で被災した文化財の保存修理等に対して助成等を行った。 報土寺ほか 143件</p> <p>3 執 行 額 92,503,000円 (補助金)</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等												
	円	円		<p>指定強化選手（ジュニア層）の支援 18競技 34人 国体京都代表選手（大学生等）の支援 24 132 指定競技への重点的な支援 12 専門的指導者による多角的な強化支援 25</p> <p>(2) チーム京都推進 府競技力向上対策本部主導による、競技横断的な強化施策支援を実施した。 社会人選手の雇用主への活動費支援 7社 28人</p> <p>(3) ジュニア層強化事業 ゴールデンスポーツイヤーズに京都ゆかりのジュニア選手が花開くための速やかな競技力向上に向けた支援を実施した ジュニア指導者を対象とした講習会 6競技 330人 オリンピック出場選手等による体験教室等 13 1,724</p> <p>(4) 指導者育成事業 ゴールデンスポーツイヤーズ以降も高い競技力を持続させるために計画的な指導者育成を実施した。 組織マネジメントやトレーニング理論に関する 9競技 478人 指導者講習会</p> <p>3 執 行 額 248,765,609円 (うち補助金 241,515,000円)</p>												
			京都式「部活動サポート」事業 (保健体育課)	<p>1 施策の趣旨等 外部人材を配置することにより、運動部顧問教員の負担軽減を図るとともに、運動部活動の活性化び教員の指導力向上を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域のスポーツ指導者による</td> <td>中学校</td> <td>100運動部</td> <td>93運動部</td> </tr> <tr> <td>部活動等指導の実施</td> <td>高等学校</td> <td>80</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況 (1) 部活動指導員 学校部活動の校内業務を担う部活動指導員を中学校に31人配置した。 (2) 外部指導者 運動部活動指導者セミナーにおいて、指導上の配慮事項等に係る講習を実施するとともに、地域のスポーツ指導者を中学校57校・府立高校36校に派遣した。</p> <p>3 執 行 額 19,461,130円</p>	指 標		目 標	実 績	地域のスポーツ指導者による	中学校	100運動部	93運動部	部活動等指導の実施	高等学校	80	96
指 標		目 標	実 績													
地域のスポーツ指導者による	中学校	100運動部	93運動部													
部活動等指導の実施	高等学校	80	96													

			京都府版マスターズ大会開催事業 (保健体育課)	<p>1 施策の趣旨等 より多くの成年・中高年の健康増進や生涯スポーツ推進に寄与するとともに、ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けた機運の醸成を図る。</p> <table border="0"> <tr> <td>指 標</td> <td>目 標</td> <td>実 績</td> </tr> <tr> <td>マスターズ部門実施種目数</td> <td>23種目</td> <td>23種目</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 京都府民総合体育大会にマスターズ部門を設置し、京都府版マスターズ大会を開催した。 実施種目及び参加人数 23種目 12,664人</p> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">9,700,000円 (補助金)</p>	指 標	目 標	実 績	マスターズ部門実施種目数	23種目	23種目									
指 標	目 標	実 績																	
マスターズ部門実施種目数	23種目	23種目																	
10 私学振興費			私立学校教育振興補助事業 (文教課)	<p>1 施策の趣旨等 府内の私立学校(高等学校、中学校、小学校、幼稚園、専修学校、各種学校)教育の振興を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 私学運営費補助 必要な経費の一部を学校法人に対して補助し、保護者の教育費負担の軽減、教育条件の向上及び経営の健全化を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">216校(園)</td> <td style="text-align: right;">18,739,826,300円</td> </tr> </table> <p>(2) 北部過疎地域私立高等学校運営費特別補助 北部過疎地域内における私立高等学校の生徒の減少に対応し、学校経営の健全化を図り、併せて保護者の教育費負担の軽減等を支援した。</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">1校</td> <td style="text-align: right;">16,605,000円</td> </tr> </table> <p>(3) 私立高等学校生徒通学費補助 高額の通学費を負担する家庭に対し、通学費の支援を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">19人</td> <td style="text-align: right;">407,000円</td> </tr> </table> <p>(4) 私立高等学校等授業料減免事業等補助 府内の私立小学校及び私立中学校に在籍する生徒の保護者の教育費負担の軽減を図るため、経済的理由により学校法人が行った授業料減免を支援した。</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">16校</td> <td style="text-align: right;">37,002,413円</td> </tr> </table> <p>(5) 私立高等学校定時制及び通信制課程教科書等給与費補助 高等学校定時制及び通信制の課程に学ぶ勤労青少年の経済的負担を軽減し、学習意欲の向上を図るため、有職者で希望する者に教科書及び学習書を給与することを支援した。</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">26人</td> <td style="text-align: right;">105,000円</td> </tr> </table>		216校(園)	18,739,826,300円		1校	16,605,000円		19人	407,000円		16校	37,002,413円		26人	105,000円
	216校(園)	18,739,826,300円																	
	1校	16,605,000円																	
	19人	407,000円																	
	16校	37,002,413円																	
	26人	105,000円																	

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>(6) 私立幼稚園幼児教育振興補助 宗教法人が設置する私立幼稚園 ((1)の対象外) における幼児教育の振興を図るため、体験学習等の教育事業を支援した。 1 園 137,000円</p> <p>(7) 私立幼稚園教材費補助 宗教法人が設置する私立幼稚園 ((1)の対象外) の振興と保護者の教育費負担の軽減を支援した。 1 園 9,610,000円</p> <p>(8) 私立幼稚園同時在園保育料減免事業補助 私立幼稚園児の保護者の子育て支援及び幼児教育の振興を図るため、同時在園児に係る保育料減免事業を支援した。 132園 1,660人 34,658,000円</p> <p>(9) 私立幼稚園心身障害児教育費補助 幼稚園設置者に対して補助し、心身障害園児の就園の促進と幼児教育の振興を図った。 108園 687人 532,336,000円</p> <p>(10) 私立幼稚園預かり保育推進特別補助 私立幼稚園児の保護者の子育て支援及び幼児教育の振興を図るため、預かり保育事業を支援した。 139園 394,740,000円</p> <p>(11) 私立専修学校・各種学校教育振興費補助 必要な経費の一部を学校法人に対して補助し、専修学校教育及び各種学校教育の振興を図った。 33校 76,000,000円</p> <p>(12) 私立高等専修学校生徒奨学補助 私立高等専修学校に在籍する生徒の奨学と保護者の教育費負担の軽減を図るため、一定の所得以下の府民の子弟である生徒を対象に、年額18,000円の授業料軽減措置を行った。 12人 226,000円</p> <p>(13) 私立学校教職員研修費等補助 私立学校の教職員の資質向上を図るための研修等を奨励し、私学教育の振興を図るため、私学団体が行う私立学校教職員等の研修事業等を支援した。 5 団体 15,131,000円</p> <p>(14) 私立学校教職員共済事業団補助 私立学校教職員共済事業団加入者及び学校法人等の掛金、負担金の軽減を図るため、日本私立学校振興・共済事業団に対して、厚生年金保険の保険料のうち標準報酬月額1,000分の7.5の1箇年分を補助した。 7,058人 213,788,776円</p>

				<p>(15) 私立学校教職員退職金補助 私立学校教職員の福祉の増進を図り、もって私学教育の振興を図ることを目的として、公益財団法人京都府私学退職金財団に対して、標準給与月額1,000分の19の1箇年分を補助した。 4,304人 317,388,400円</p> <p>(16) 読書習慣育成事業 幼児期に読書の楽しさを教え、豊かな心を育むとともに、生涯にわたる学習の基礎の確立を図るため、私学団体を支援した。 1団体 2,000,000円</p> <p>(17) 私立高校経営改革検討事業 少子化の進展等による厳しい私学経営を踏まえ、公教育に大きな役割を果たしている私学の経営改革の取組を支援するため、私学関係者等による研究会を実施した。 経営分析に関する研究会の開催 1回 139,235円</p> <p>(18) 私立学校施設緊急耐震化事業費補助金 府内私立学校（幼稚園含む）施設の耐震化を促進するため、私立学校の耐震・改築改修事業に要する経費の一部を補助した。 8校（園） 64,141,000円</p> <p>(19) 幼児教育向上支援事業補助金 私立幼稚園の幼児教育の振興を図るため、公益社団法人京都府私立幼稚園連盟に対して、高い専門性を持った幼稚園教諭等の登録・派遣事業等に要する経費の一部を補助した。 1団体 3,000,000円</p> <p>(20) 高等学校等就学支援金 私立高等学校等に在籍する生徒の保護者の教育費負担の軽減を図るため、授業料軽減措置を行った。 23,823人 4,290,286,597円</p> <p>(21) 奨学のための給付金 授業料以外の教育負担の軽減を図るため、高等学校等就学支援金の対象校（特別支援学校の高等部を除く。）に在籍する低所得世帯の保護者に対して、給付金を支給した。 4,862人 452,749,200円</p> <p>(22) 学び直し支援金 高等学校等を中途退学した者が再び高等学校等で学び直す場合に、法律上の高等学校等就学支援金の支給期間経過後も、卒業までの間（最長24月）継続して授業料を支援した。 17人 2,065,901円</p> <p>(23) 専門学校生への効果的な経済的支援実証研究事業 専門学校生に対する経済的支援策等について総合的な検討を進めるため、平成27年度から3年間にわたる実証的な研究として、経済的理由により修学が困難な生徒に対し、学校法人が実施する授業料減免を支援した。 10校 7,244,752円</p>
--	--	--	--	--

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>(24) 教育支援体制整備事業費補助 幼稚園及び認定こども園における教育支援体制の整備事業を支援し、子供を安心して育てることができる体制の整備を促進した。 1市、34園 7,606,000円</p> <p>(25) 私立中学校等修学支援金 私立小中学校に在籍する児童生徒の保護者の教育費負担の軽減を図るため、授業料軽減措置を行った。 294人 32,553,743円</p> <p>(26) 幼稚園教諭処遇改善支援事業 幼稚園教諭の人材確保を図るため、私立幼稚園が実施した処遇改善に要する経費の一部を支援した。 57園 21,978,000円</p> <p>3 執 行 額 25,271,725,317円 (うち補助金 25,265,515,137円)</p>
			私立高等学校あんしん 修学支援事業 (文教課)	<p>1 施策の趣旨等 家庭の経済状況にかかわらず、修学の意志のある私立高校生が安心して勉学に打ち込めるよう、修学費用負担の解消・軽減を行い、経済的理由により学業の継続が困難となることがないように支援する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 私立高等学校等授業料減免事業等補助 府内の私立高等学校に在籍する生徒の保護者の教育費負担の軽減を図るため、年収500万円未満程度の世帯における授業料を65万円まで実質無償化するなど、学校法人が行った授業料減免を支援した。 41校 3,620,742,735円</p> <p>(2) 私立高等学校学費軽減補助 府内の私立高等学校に在籍する生徒の奨学と保護者の教育費負担の軽減を図るため、一定の所得以下の府民の子弟である生徒を対象に、年額50,000円の授業料軽減措置を行った。 7,230人 359,294,852円</p> <p>(3) 府外通学生相互支援事業 府外（兵庫県、奈良県）の私立高等学校に在籍する生徒の奨学と保護者の教育費負担の軽減を図るため、一定の所得以下の府民の子弟である生徒を対象に、授業料軽減措置を行った。 174人 4,276,950円</p>

				<p>3 執行額 3,984,314,537円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 いじめ、体罰、不登校等の課題に対応するため、生徒や保護者の相談に対応する相談機関の運営を支援するとともに、いじめ対応のための附属機関等を設置する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 私学修学支援相談センター事業 いじめ問題等の解決を促進するため、京都府私立中学高等学校連合会が設置する相談機関の運営経費の一部を補助した。 (2) いじめ対応のための附属機関等の設置 多くの関係機関が相互に連携を図るために、京都府いじめ問題対策連絡会議を設置するとともに、教育委員会や学校が行った重大事案調査の再調査を行う京都府いじめ調査委員会を設置した。 京都府いじめ問題対策連絡会議の開催 1回 京都府いじめ調査委員会の開催 9</p> <p>3 執行額 8,340,988円 (うち補助金 4,500,000円)</p>
			いじめ防止・不登校支援等総合推進事業 (文教課)	

